



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信

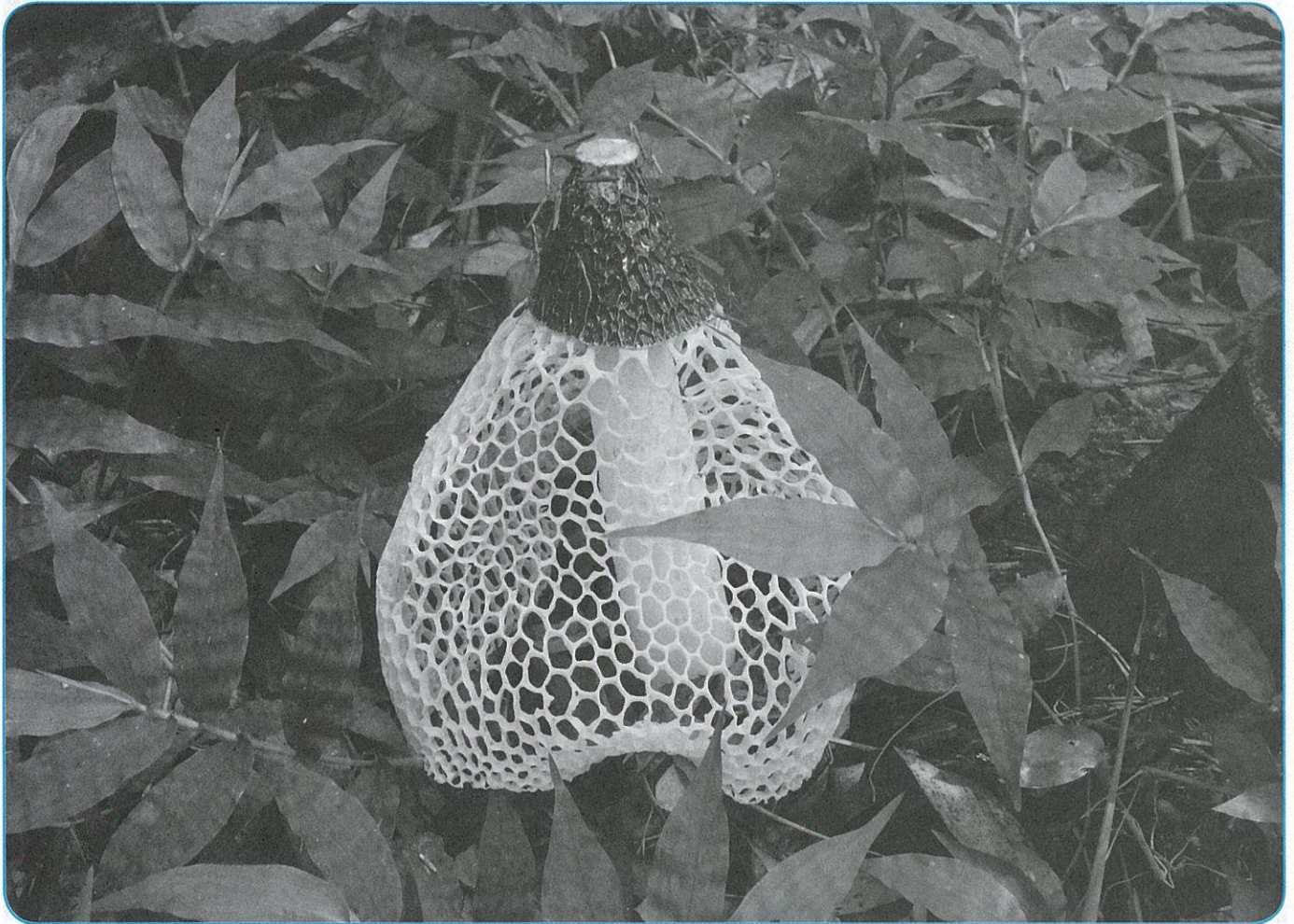


E·N·S通信

No.19



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
Saitama Center for Climate Change Actions



地球温暖化と生物多様性 3つの共生を求めて

共栄大学教育学部 特任教授 高橋 進

今年の夏は、記録を更新する連日の酷暑。気候変動・地球温暖化を実感せざるを得ない。そして、健康や産業への影響だけではなく、生物多様性への影響も懸念される。その例として、国内でも、高山植物の衰退やナガサキアゲハなどの北進などの事例があげられている。逆に、森林やサンゴ礁などの生態系は、二酸化炭素の吸着固定などにより、温暖化の緩和にも寄与している。一方で、最近では温暖化の原因となる化石燃料に代わるバイオ燃料生産のために、東南アジアの熱帯林が伐採されてアブラヤシのプランテーションに転換されている。温暖化を防ぐ目的が、熱帯生態系減少の原因となっているのだから、温暖化と生物多様性の関係も複雑だ。地球温暖化は、私たち人類だけではなく、様々な便益を与えてくれる生物多様性をも脅かすものだ。また、私たちの生活が、埼玉県内だけでなく遠く離れた地域の環境にも影響を及ぼしていることにも留意する必要がある。さらに、子孫には、温暖化によって変わり果てた地球ではなく、緑の地球を手渡したいものだ。そのためには、「種を超えた共生」「地域を超えた共生」「時間を超えた共生」の「3つの共生」を念頭に、緩和策と適応策を進めていくことが求められる。





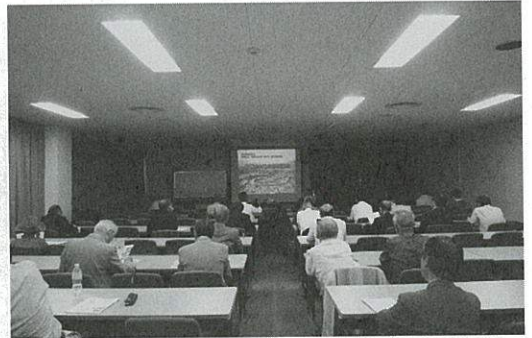
● 環境ネットワーク埼玉より

通常総会を開催しました

平成27年度通常総会を6月21日に開催しました。総会の前には、恒例の講演会も行いました。

◎講演会「埼玉の大地の成り立ちとジオパーク」本間岳史氏(埼玉県自然の博物館前館長)

秩父地域は平成23年に日本ジオパークの一つに認定されました。それを受けて、今回の講演会では、私たちにはなじみの薄い埼玉県の地形・地質などについて、基本的な特徴についてお話をいただく機会を持ちました。海無し県である埼玉県は大昔は海の底で、陸なし県だった時代のほうが長いとのこと。秩父地域は、明治時代から日本の近代地質学における数々の先駆的な研究が行われ、『日本地質学発祥の地』と呼ばれているそうです。明治時代には、宮沢賢治も地質調査にこの地を訪れたとのこと。違った角度から埼玉県の成り立ちを知ることができ、大変有意義でした。



◎平成27年度通常総会

15時より環境ネットワーク埼玉の総会を行いました。

当日は、68名の社員(正会員)の出席があり、昨年度の事業について確認、決議した後、今年度事業の計画と予算を決定しました。

今年度は、設立及びセンター指定を受けて11年目となり、組織的にも事業的にもさらなる信頼性の向上と公益的な活動を進めるべく、昨年度に引き続き、国や自治体等からの委託事業を行う他、環境ネットワーク埼玉独自に取り組む自主事業も継続していきます。

日時：平成27年6月21日(日)
総会15:00～ (講演会13:30～)

場所：埼玉会館3C会議室

出席社員：68名(委任状込)

議案

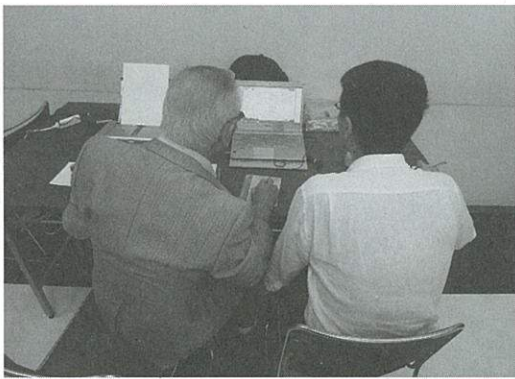
- ・第1号議案 平成26年度事業報告(案)
- ・第2号議案 平成26年度事業決算(案)
- ・第3号議案 平成27年度事業計画(案)
- ・第4号議案 平成27年度事業予算(案)

平成27年度事業計画

1. 環境保全に係る普及啓発及び相談助言
 - ・エコライフの推進
 - ・地域における地球温暖化防止活動促進事業
 - ・創エネ・省エネの普及啓発
 - ・太陽光市民共同発電所の設置
2. 環境保全活動を行う個人・団体の支援並びに交流及び連携の促進
 - ・さいたま市地球温暖化対策地域協議会運営支援
 - ・埼玉グリーン購入ネットワーク事務局支援
 - ・地域活動支援・連携促進事業
 - ・うちエコ診断事業
 - ・省エネナビゲーター事業の支援
 - ・ESD環境教育プログラム地域事務局支援
 - ・都市と森をつなぐ環境事業推進協議会の事務局支援
 - ・環境マネジメントシステムの支援事業
 - ・環境先進事例の見学会開催
3. 環境保全活動の指導者育成
 - ・インターンシップの受け入れ
 - ・事業所向け省エネ診断員の勉強会の支援
 - ・推進員研修会の開催
4. 環境保全に関する調査研究及び情報提供
 - ・ENS通信等発行
 - ・ホームページ・環境ネットワークプラザ運営



「うちエコ診断」始まりました!



今年度も「首都圏ネットうちエコ診断実施事務局」として、広域的に「うちエコ診断」を展開しています。昨年度に引き続き、コープみらいの組合員を対象とした診断(予定件数300件)や、さいたま市地球温暖化対策地域協議会との共催で、さいたま市在住・在勤の方を対象に診断(予定件数30件)を実施しています。受診者の方からは「診断士の方のお話がわかりやすかった」「今まで気づけなかったことを知ることができた」という声が聞かれ、非常に好評を博しています。うちエコ診断は家庭のCO2排出削減にとっても効果的な手法の一つです。一人でも多くの方が受診されることを期待しています。

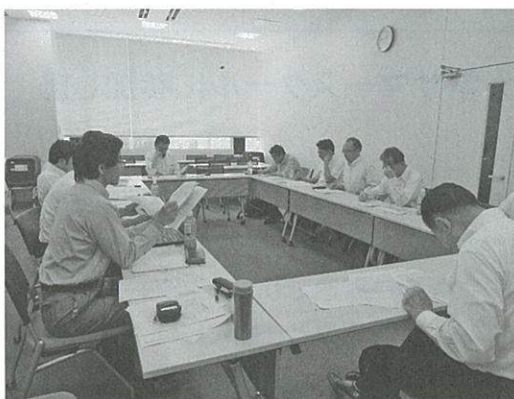
※「うちエコ診断」とは、環境省認定のうちエコ診断士が専用のうちエコ診断ソフトを使い、各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、省CO2対策を提案するものです。

◎うちエコ診断士フォローアップ研修

埼玉、東京、千葉、群馬在住のうちエコ診断士が今年度「首都圏ネットうちエコ診断実施事務局」に33名登録していただいています。今回、うちエコ診断士の更なるスキルアップのため、8月11日にうちエコ診断士フォローアップ研修を実施しました。3名の講師より最新情報や診断テクニックの講義を受けた後、うちエコ診断士同士で、診断の際の疑問点や、それぞれの経験に基づいた対処法などについて意見交換を行いました。皆さんとても熱心に受講していただき、今後の診断へのさらなるスキルアップができました。



都市と森をつなぐ環境事業推進協議会がスタートしました



昨年度までの都市と森をつなぐ再生可能エネルギー協議会を名称変更し、今年度より「都市と森をつなぐ環境事業推進協議会」として活動をスタートしました。この協議会は、人、資源、経済で都市と森がつながり、環境面や経済面で都市も森も一緒に持続可能に発展していくことを目的としています。そのためには、都市部の人に森に足を運んでもらい、森林の現状や楽しみ方を理解していただくための受け皿作りとして、まず森の整備を行う予定となっています。今年度は地球環境基金の助成をいただき、森の環境教育のプログラム作りや企業のCSR意識調査を行います。秩父市吉田の山逢の里奥のプロジェクトサイトである山の整備や技術指導の講習会等も予定しています。さらにさいたま市の親子を対象とした、森のGoodJob体験学習会を11月に開催予定です。まだ動き出したばかりの活動ですが、多くの方に理解をいただき、都市と森が共に発展していくことを期待したいと思います。





埼玉県地球温暖化防止活動推進員と一緒に取り組んでいます！

埼玉県地球温暖化防止活動推進センターでは、環境省の補助事業「地域における地球温暖化防止活動促進事業」を活用して、センターの5つの役割に沿った事業を行っています。

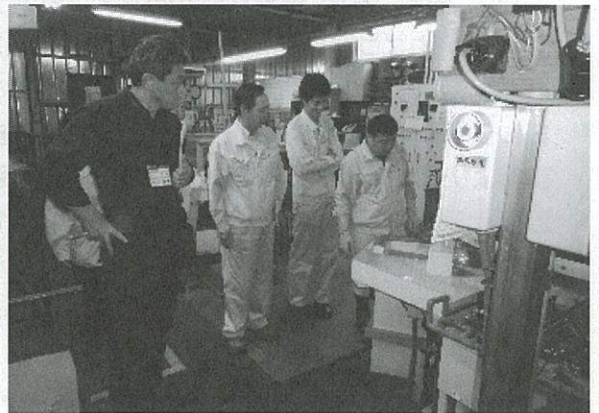
今年度のスタートとして、埼玉県地球温暖化防止活動推進員との意見交換会を7月9日、10日に開催しました。直前の呼びかけにもかかわらず、2回合わせて30名以上の参加があり、活発に意見交換を行いました。実際に地域で活動している状況や、活動していく上で課題や要望を知ることができ、事業を進めていく上で大きなヒントが得られました。具体的には「ツールなどの情報が欲しい」「環境家計簿をもっと広げるべきだ」という意見もありました。

今回の意見を元に、温暖化防止が地域で根付いていくように、推進員と共に取り組んでいきたいと思えます。



事業所向け省エネ診断が始まりました！

今年度も引き続き、対象の異なる事業所向け省エネ診断事業を実施しています。今年度で5年目を迎える「埼玉県省エネナビゲーター事業」では、「埼玉県事業者向けCO2排出削減設備導入補助金制度」を活用するためには省エネ診断が必須であることの影響もあり、当初の目標数を大幅に超え、90件の診断を実施しています。診断を担う診断士総勢30名の省エネナビゲーターは、自主的な勉強会(ナビの会)を定期的で開催するなど研鑽を積み、レポートも完成度の高いものに仕上げています。その結果受診者の満足度も高くなっています。一方、環境省「小規模事業所向け省エネ診断」も4年目を迎え、年間エネルギー使用量15kW未満の事業所を対象に診断を行っています。今年度は特に、2つの商工会のご協力により、重点的に省エネ相談会や省エネ講座を計画しています。事業所の省エネはCO2の削減ばかりでなくコスト削減にもつながるので、多くの事業所に診断をしていただきたいと考えています。



◎第6回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉開催のお知らせ

今年度も、低炭素まちづくりフォーラムin埼玉～つながろう 広がろう エコの環～を12月12日(土)に大宮ソニックシティ4階市民ホール等で開催します。第6回を迎える今年は、早稲田大学理工学術院 建築学科教授の高口洋人氏をお招きして低炭素なまちづくりについてご講演いただきます。また午後の分科会では、「低炭素な地域づくり」「くらしのエコ」「化学物質と食」「生きものと環境教育」「学生」の5テーマを設定し、各分科会で議論します。たくさんのご参加をお待ちしています。

◎共栄大学サマースクールに参加しました

春日部市にある共栄大学では、夏休みに学生を対象としたサマースクールが開催されています。今年は共栄大学のご厚意でサマースクールの日を提供いただき、埼玉県と一緒に「ストップ温暖化～推進員を目指そう～(入門編)」講座を7月31日に実施しました。当日は埼玉県の地球温暖化への取組や埼玉版Web家庭エコ診断をどう広げるかのワークショップを行いました。特にワークショップでは若い人の自由な発想で大変面白いアイデア等が出ました。今後はぜひ実践活動への参加も期待したいと思います。



● 会員活動の報告

環境ネットワーク埼玉・夏の見学会を開催しました

恒例の夏の見学会を8月4日に開催しました。今回は、都市と森をつなぐ環境事業推進協議会のプロジェクトサイトである秩父市吉田の山逢の里キャンプ場奥の山や、シオパーク秩父を見学しました。

山逢の里キャンプ場奥の山を地元地権者の方と利用協定を結ぶことができ、協議会ではこれからこの山を整備し、都市住民対象の環境教育や企業の研修等の場に活用いただこうと考えています。プロジェクトサイトの山はまだ未整備のため、山の中には滅多に見ることができないキヌガサタケ(表紙写真)が自生していました。一方森林保全には間伐が欠かせないのですが、間伐材の利用先として薪などの森林バイオマスの活用が期待されている中、今回は貯木場にある木を使って薪割り体験を行いました。

午後は今年度総会時の講演会テーマであった「シオパーク秩父」を実際に見てみよう、小鹿野町にある「おがの化石館」と「ようばけ」を見学しました。何億年もかけて地殻変動を繰り返した結果、現在の地層が形成され古代の生きものの跡が見られることに地球の長い歴史を感じました。大変暑い一日でしたが、同じ暑い埼玉県内でも地域によってこのように環境保全への対応が違うのだということが分かり、有意義な一日となりました。

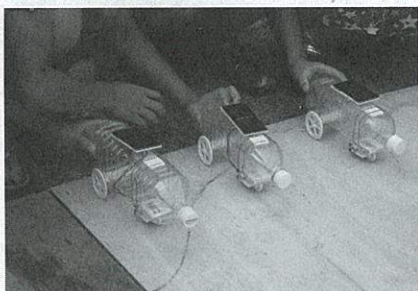


堀崎町自治会

“夏休み自然エネルギー学習会”

昨年度市民共同発電所6号機を設置した堀崎町自治会館で、夏休み親子対象の自然エネルギー学習会が開催されました。7月29日(水)午前中から約40人の親子が集まり、夏休みの宿題にも役に立つ太陽光発電についての学習や、ペットボトルで作るソーラーカー工作教室が開催されました。

多くの子供たちが集まり、思い思いのソーラーカーを真剣に作っていました。最後には出来上がったソーラーカーを持ち寄り、カーレースを行いました。今後も堀崎町自治会では、子供たち対象の環境学習を行っていく予定とのこと。このように環境学習等の取組にも広がっていく市民共同発電を今後も推進していきたいと思えます。設置場所を常時募集していますので、ぜひ情報をお寄せください。



団体賛助会員(企業)紹介

賛光精機株式会社

◆会社概要◆

代表者：代表取締役社長 清水 洋

所在地：埼玉県本庄市児玉町共栄300-2

設立：1964年1月

当社は1964年蕨市で創業し、50年に渡り、主としてアルミ等の精密加工事業を営んできました。

世界に誇るヘール加工をはじめとする特殊加工技術を確立し、ISO9001及びISO14001を取得した認証工場として、徹底した品質管理のもと、お客様の要望に添えてまいりました。

2011年には、長年培われたアルミ精密加工技術をベースに、当社モンゴル工場にて太陽電池パネルの自社生産をスタート、2012年には太陽光発電販売事業部を設立し、IOC本庄早稲田事務所にて、市場動向等の情報収集、研究開発、システムインテグレート、販売から施工・保守点検まで、一貫したサービス体制で事業推進しております。

賛光精機は、世界が直面している環境問題を最重要課題と捉え、未来ある子供たちのために、地球環境を守ることを使命として、すべての事業活動の基軸に環境を考慮して取り組んでまいります。工場環境負荷低減はもとより、精密加工技術を更に研鑽することで技術革新に貢献し、太陽光事業、環境事業を通して、地球にやさしい会社を目指します。



事務局からのお知らせ

■埼玉県指定NPO法人を目指します

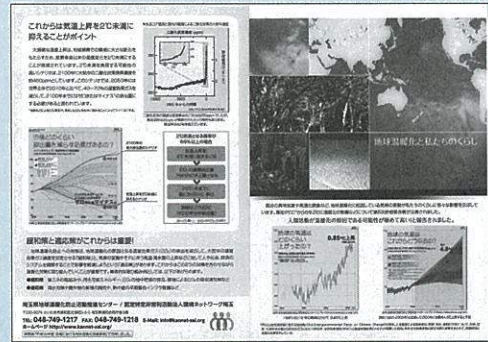
当団体は、信頼性の向上とさらなる活動を目指して埼玉県の条例指定NPO法人に申請しました。

指定NPO法人とは、NPO法人のうち、県民からの支援を受けているとともに運営組織が適切であるなど、一定の基準に適合するNPO法人を県が条例で個別指定する制度です。

個人が指定NPO法人へ寄附をした場合、個人県民税の寄附金税額控除を受けることができるなどの特典があります。

今後、指定NPO法人として活動の幅を広げていきたいと思っております。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

パンフレットを増刷しました



ご好評につき、「地球温暖化と私たちの暮らし」を増刷しましたので、ぜひご利用ください。

■平成27年度住宅用省エネ設備導入支援事業補助制度申請受付窓口からのお知らせ

埼玉県では、住宅にHEMS機器を設置し、併せて指定する省エネ設備を導入する方に補助金を交付しており、申請受付窓口を当団体が行っています。

申請受付期間：平成27年4月1日～平成28年1月29日

補助対象：HEMS機器(2万円)【必須】+その他省エネ設備※(各5万円)【選択】

※選択機器：家庭用燃料電池、太陽熱利用システム、地中熱利用システム、定置用リチウムイオン蓄電池、電気自動車充電設備(V2H)のうち、いずれか1つ以上

詳しくは埼玉県ホームページをご覧ください。 URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/h27-ese.html>

★会員募集★

活動を支援して下さる会員を募集しています！
詳しくは事務局までお問合せください。

	個人	団体 (非営利)	団体 (企業)
正会員	5,000円	5,000円	50,000円
賛助会員	3,000円	3,000円	10,000円

*会費は年会費です(年度更新)。

*正会員は社員として議決権が付与されます。

*個人の賛助会費及び寄付は、税の優遇対象です。

■表紙説明■

キヌガサタケ

※秩父市吉田山逢の里
キャンプ場の奥の山



埼玉県ではレッドデータリストに収録されていて、準絶滅危惧種としてランクづけられ、間近で見られる機会もなかなかありません。胞子を含む粘液が放つ異臭は、昆虫や陸棲貝類などの小動物を引き寄せるべく進化した結果であると考えられています。

編集・発行

発行日 2015年9月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>

閉館日: 土・日、祝日 開館時間: 9時～17時

情報やお知らせ等があれば、是非お寄せください。

